



「いざ、読書。」

今年の秋の読書週間は、
10月27日(木)～11月9日(水)
の二週間です！

すっかり涼しくなってきましたので、本を留意して読書
をしましょう。おうちにある本だけでなく、学校の図書室
や、市立図書館、やまなみ号などで本を借りたり、新しい
本を買ったりして、お気に入りの本を読むのもいいです
ね。



今回のおしらせ

- 秋の読書週間
- 仕事の本紹介

「おすすめ」を読んでみよう！

「どんな本を読んだらいいかわからない…」という人は、【ブックリスト】を見てみましょう。ブックリストとは、おすすめの本が書いてあるものことです。ブックリストは、本になっていたり、ポスターになっていたりします。(図書室にも「よい絵本」というブックリストのポスターがはってあります。)本を読むのが苦手な人は、小学生向けのブックガイドを読んでみるのも良いと思います。小学生の時と中学生の今とは、感じ方が違ったり、新しい発見があったりするかもしれません。

『今すぐ読みたい！10代のためのYAブックガイド150！』

監修：^{かわはらみずひと}金原瑞人、ひこ・田中 発行：ポプラ社

27人の「本のプロ」が選んだ150冊を紹介。2009～2015年に発売された本から選んでいます。ジャンルは、小説・エッセイ・コミック・絵本・ノンフィクション・詩集・写真集などさまざま。大人も読みたいくなります。

『ほかの誰も^{すす}薦めなかったとしても今のうちに読んでおくべきだと思う本を紹介します。』

発行：^{かわてしほ}河出書房新社

『14歳の世渡りシリーズ』のこの本。総勢30人が、本当にほかの誰もおすすめしないような本をずらりと並べています。たとえば森達也さんのすすめる『幼年期の終り』（ハヤカワ文庫）、これはSFです。「ほかにもすすめたい一冊なんかない！自分で探して！でもそういうわけにはいかないから佐野洋子さんの『問題があります』（筑摩書房）を紹介します。」という角田光代さん。しかも『14歳の世渡りシリーズ』なのに、とある本を紹介して「世渡りなんかやめなさい。」という上野千鶴子さん。他のブックリストとは一味違う本です。



仕事の本を読んでみよう！

11/23は、『勤労感謝の日』です。「勤労」とは「働く」「仕事をする」という意味です。みなさんはまだ中学生ですが、将来やりたいと思う仕事がありますか？ある人も、まだない人も、これから紹介する本を読めば、やりたいと思う仕事が見つかるかもしれませんよ。



『あたまにつまった石ころが』 作： キャロル・オーティス・ハースト

絵： ジェイムズ・スティーブンソン 発行：光村教育図書

お父さんは石ころが大好き。ひまさえあれば石を集めて人に見せたり、棚を作って飾ったりしています。「石ころなんか金にならないぞ。」と言われても「うん、そうかもね。」と言って、また石ころを集める。全然役に立たないと思われていたことでも「好き」をつらぬけば、どこかで何かの役に立つかもしれません。それに、好きなことをしていた方が、楽しく過ごせますよね。



『仕事ってなんだろう』 子どもだって哲学（5） 発行：佼成出版社

詩人・絵本作家・女流棋士・医師・大学教授という、職業がバラバラの5人に仕事についてインタビューした本。絵本作家の五味太郎さんは、子ども時代全然本を読んでいなかったそうです。何をしていたかということ、穴を掘っていました。（深く掘ると水が出てくるとか…。）そんな五味さん、いったいなぜ絵本作家になったのでしょうか？ほかの方のお話も……。

『新・13歳のハローワーク』 著：村上 龍 絵：はまの ゆか 発行：幻冬舎



仕事の本と言えばこれ！世の中のありとあらゆる仕事のがのっています。国語が好きなら作家や評論家、数学が好きなら会計士やシステムエンジニアなど、教科から探せるものもあれば、火や煙が好きなら花火師や発破技士、集めることが好きならアンティークショップや学芸員など、好きなことから探せるものもあります。また、この本のいいところは、最後に『何も好きなことがない人のための特別編』があることです。そこでは「何もしないで寝ていることが好きな人」のための仕事も紹介されています。この本はホームページもありますから、本が貸し出し中の時はネットでも見られます。

これを読めば今まで知らなかった仕事や、やってみたい仕事が見つかるかもしれませんね！

編集後記



「やりたい仕事がない！」そういう人は、新しい仕事を作ってみるのはどうでしょうか？仕事とは「役に立つこと」ですから、困っていることを解決したり、おもしろいことをやってみたりすれば、それが「新しい仕事」になります。たとえば、『空想科学読本』の柳田理科雄さんは『まんがやアニメを現実にするとうどうなるか』を研究する仕事です。これは柳田さんならではの「新しい仕事」ですね。みなさんも「自分だからこそ出来る」新しい仕事を考えてみると、おもしろくて楽しい仕事になるかもしれませんよ。